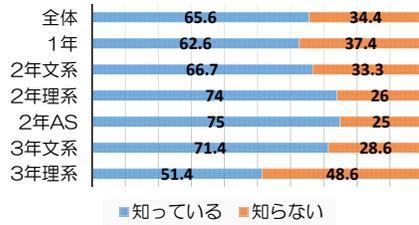


H30年度 保護者による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

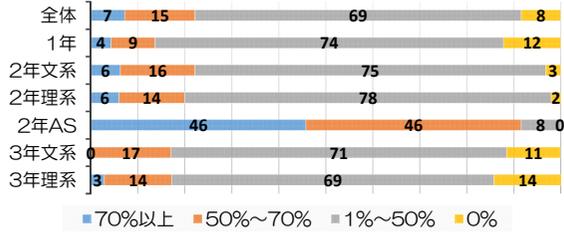
Q1:天草高校がSSHの指定校であることを知っていますか



Q2:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか

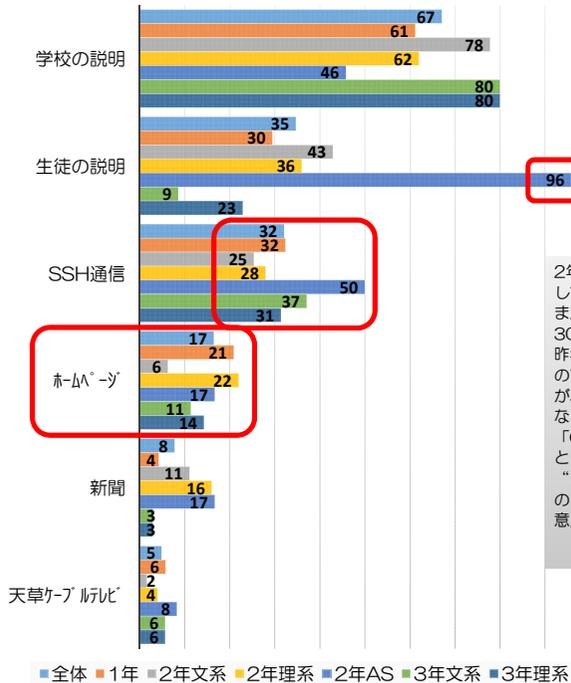


Q3:今年度実施・参加したSSH事業をどの程度知っていますか



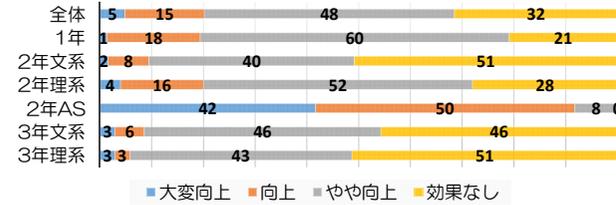
Q2の昨年度の認知度は50%でしたので、全体的にアップしているといえます。
研究開発課題を「地域を探究する」「主体性等の能力」「世界に飛躍する」といった3つの項目に分けてご理解下さるとありがたいです。
また、今年度から新設された2年ASクラスは、ほとんどのSSH事業に参加しますので、保護者の認知度も高くなっています。アンケートにある項目を見て初めて知った事業も多かったかと思えます。気になるものは、ホームページで閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。

Q4:天草高校のSSH事業を知ったきっかけは何ですか(※複数選択可)

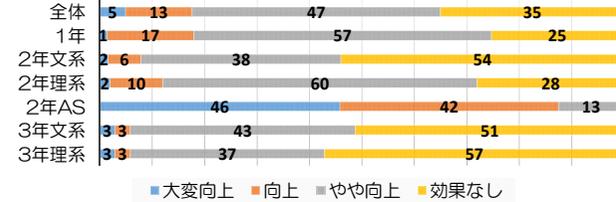


2年ASクラスの生徒が保護者の方に説明を、頻りにしていることが分かります。
また、SSH通信も昨年度は26%でしたが、今年度は30%オーバーとなりました。
昨年度と比べ、外部に出向く事業が多かったので、通信作成に時間がかったものもありましたが、ご覧下さりありがとうございました。
なお、来年度から質問項目を変える予定です。「Q3で答えた事業を知ったのは何を通してですか」とします。
“きっかけ”という言葉があるため、後から見たもの(新聞記事やケーブルテレビ)を選択できないという意見がありました。

Q5:お子様の科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか



Q6:お子様の科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか



Q7:天草高校SSH事業に求めること

理科や数学に割り当てが多い時間割

科学者や技術者の特別講義や講演会
大学や研究所、企業などでの体験学習

地域課題を解決するための課題研究

自然科学系コンテストへの参加

人文科学系コンテストへの参加

プレゼンテーション能力育成

英語で発表する能力を高める学習

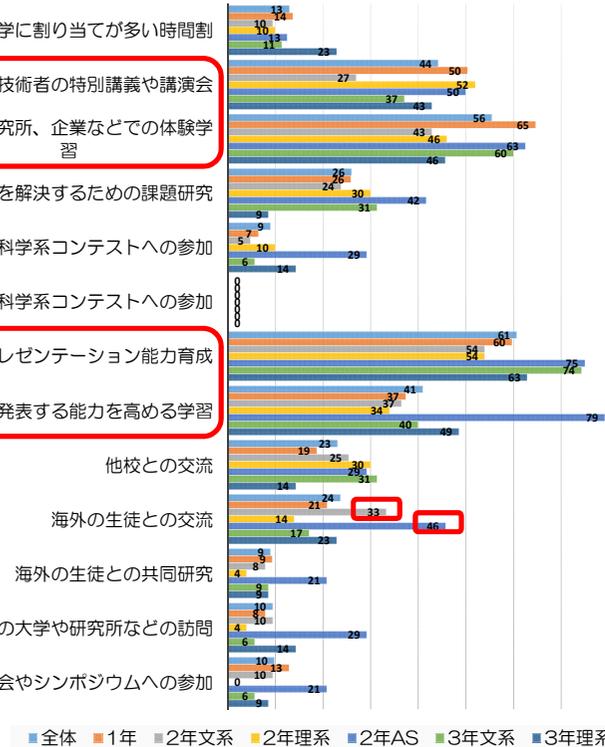
他校との交流

海外の生徒との交流

海外の生徒との共同研究

海外の大学や研究所などの訪問

国際学会やシンポジウムへの参加



Q5とQ6ともに、昨年度とほぼ同じ集計結果となりました。
客観的テスト等、「興味・関心が高まったか」「学習意欲が増したか」という内面の成長を知る方法があればと、今模索しているところです。
しかし、今回のアンケート調査のように、**生徒の変容を、保護者の方から見て評価していただくことは、客観性を高めることに有効だ**と考えています。
天草学連続講義やSSH特別講演会の後には、確実に興味・関心は増します。それが、継続したり、学習につながることを期待しています。

少し見にくいグラフとなりましたが、講演会や体験学習、プレゼン能力育成といった項目が、総じて求められていることがわかります。
海外の生徒との交流は、2年文系と2年ASクラスが高く求めています。これは、土坪高校とマレーシアに中心となって参加した生徒がいたためだと考えられます。
天草高校のSSH事業は、理系分野だけでなく、先日開催された地歴のコンテストにAS I等から生まれた課題研究を発表するなど、様々な分野に波及しています。

回答の御協力ありがとうございました。